

第 53 回山口県学校保健研究大会 報告

日時：令和 3 年 1 月 14 日（木）午前 10 時～午後 4 時

会場：山口県庁 3 階 職員ホール

出席者：小林晃子、渡辺眞美子、田村有基、為近純子

報告者：田村有基

(1) 表彰

山口県学校保健・学校安全表彰

山口県学校保健連合会表彰

山口県学校環境衛生優良学校表彰

山口県学校保健連合会特別功勞表彰

学校薬剤師の表彰として山口県学校保健連合会表彰《学校保健功勞者》より

- ・伊藤由紀子先生（山口県学校薬剤師会）
- ・椎木皓二（防府市学校保健会）
- ・重岡伸一（下関市学校保健会）
- ・殖木雅文（長門市学校保健会）



(2) 特別公演

演題：「学校歯科保健活動における食養生を考えてみましょう！」

講師：山口県歯科医師会 地域保健委員会委員長 表川実哉 先生

概要：食育は生きる上での基本であり知育・徳育・体育の基礎となるもので様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることである。学校では食材の選択に関して現代栄養学が根拠となっているが「医食同源」から学ぶ食のあり方、食材の選び方を東洋医学や体質や四季の変化を見極めたうえで実践方法を提案。

(3) 研究発表

- ・学校、学校薬剤師、教育員会との三位一体で自動・生徒の健康・安全を守って
岩国市学校保健会 岩国学校薬剤師会会長 村重和子先生

概要：学校、教育委員会、学校薬剤師が情報を共有し児童・生徒の健康や安全を守っている。照度及び照明環境、騒音環境、教室の空気、飲料水水質・施設の調査、学校給食の衛生、プール管理・排水の管理、学校の清潔状況、黒板の管理状況、害虫の駆除と対策、使用薬品の管理、くすり教育、薬物乱用防止教室・アンチドーピング・配膳質の管理等々の学校薬剤師の職務を通して児童の安全を確保できるので積極的に学校薬剤師に相談してほしい。

岩国学校薬剤師会では会員同士の情報交換をしながらレベルアップを図りモチベーションの高い新会員を増やすことでさらに児童生徒の健康や安全に努めたい。

- ・自分の心と体を正しく見つめ、自己管理ができる子供の育成を目指して

～小中連携を生かした保健室対応～

防府市学校保健会

概要：小中連携して6グループに分け、①生活習慣の改善の取り組み②前項に広めるのが防止の取り組み③主体者形成を目指したセルフケア能力の向上④健康的な生活習慣の身につけるためにメディアコントロールの取り組みを通して⑤歯科保健の向上を目指して「はみがきカードの実践」⑥望ましい生活習慣の確立に向けて、それぞれのグループがその成果と課題を発表した。大きな成果としては養護教諭の連携がとりやすく学校全体を巻き込んで足並みを揃えて進めたこと、子供同士の交流がしやすいことがあった。

- ・学校、家庭、地域とともにあるがん教育の推進

～山口県立大学・ながと健康プロジェクトと連携した取り組みを通して～

概要：お笑い芸人の、どさけんさんと県立大学から講師を招き、がん予防教育講座を実施。公開授業ではがん経験者を招いた講演会も実施。がん予防には早期発見・がん検診が大事で飲酒・食生活といった生活習慣の乱れにも見直すことが大切であることを理解してもらった。子供たちの感想では家族や知り合いと楽しめる運動をしたい、2人に1人になる身近な病気なので自分のこととして考えたいといった意見や保護者の感想としてもがん検診を面倒なことと思わず受けに行きたいと思う、身内をがんで亡くしているので早期発見を心掛けるといった前向きな意見が聞かれた。

- ・地域や家庭、関係機関との連携強化による学校安全推進の継続的な取り組み

～深めよう絆、つなげよう未来へ、大好き柳北を合言葉に～

柳井市立柳北小学校

概要：スクールコミュニティの機能を生かして学校、地域、家庭との連携を強化できる。他にも学級活動、児童会活動、体育科から安全教育、健康観察、通学路の安全全点検、交通安全教室等様々な方面から安全確保が可能である。